

アイティメディア株式会社
2023年3月期 第1四半期
決算説明資料

2022年7月29日
証券コード：2148 東証プライム市場





- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。
 - 当社の業績に影響を与える事項は「2022年3月期有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。
 - 本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。
 - この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
 - 本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。
-
- 当社は、2016年度第1四半期決算より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたしました。
 - 2020年3月期において、ナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡を実行したことに伴い、同社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損益は、要約四半期損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上収益および営業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、2019年3月期についても同様に組み替えて表示しております。



2023年3月期 第1四半期 業績概況

サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想

過去最高

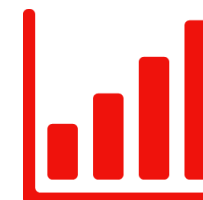
成長継続
業績予想に
向け堅調



売上収益
1,980百万円
(13%増)

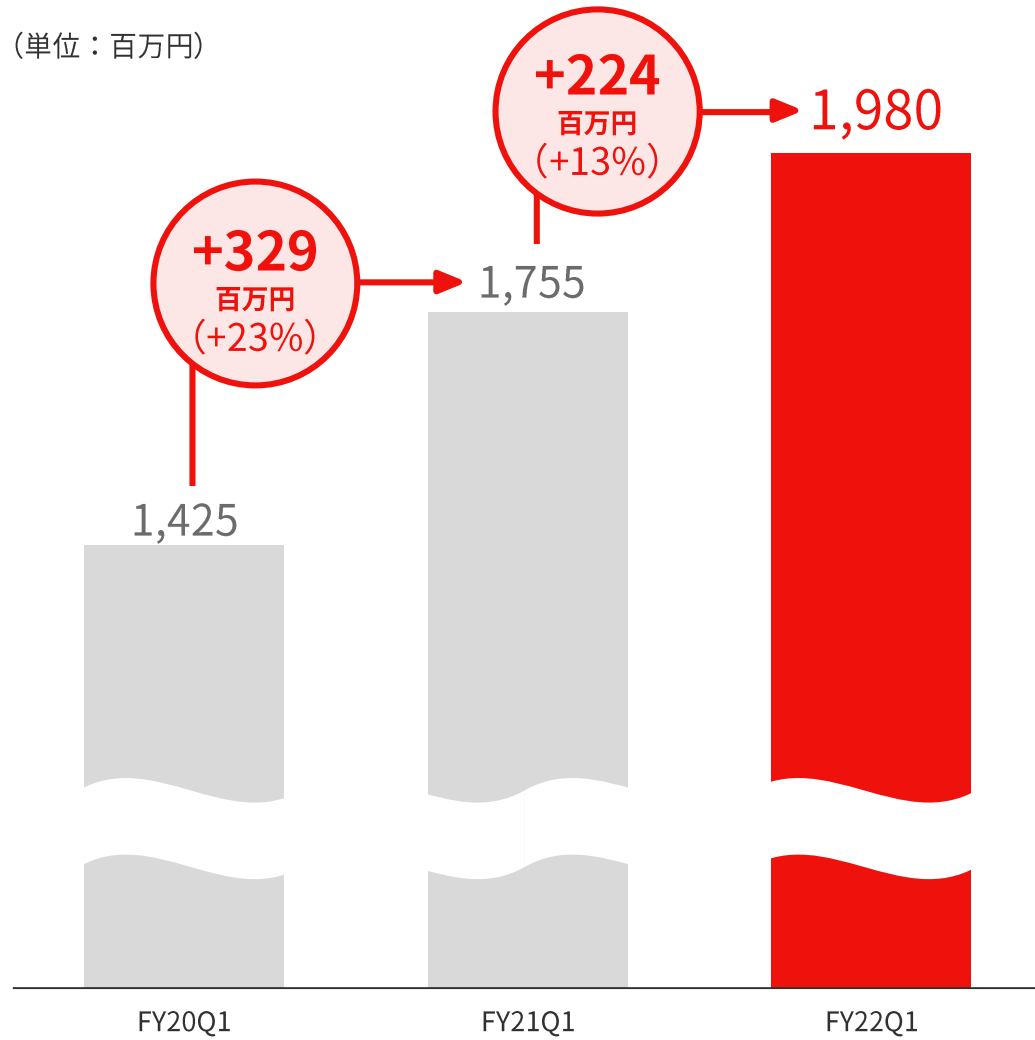
- リードジェン事業 8% 増
メディア広告事業 17% 増
- ・マーケティングのデジタルシフト継続
 - ・DX加速背景に製造系
／クラウド・SaaS系顧客ニーズ拡大
 - ・主催型デジタルイベント好調
 - ・運用型広告収益拡大

営業利益
630百万円
(9%増)

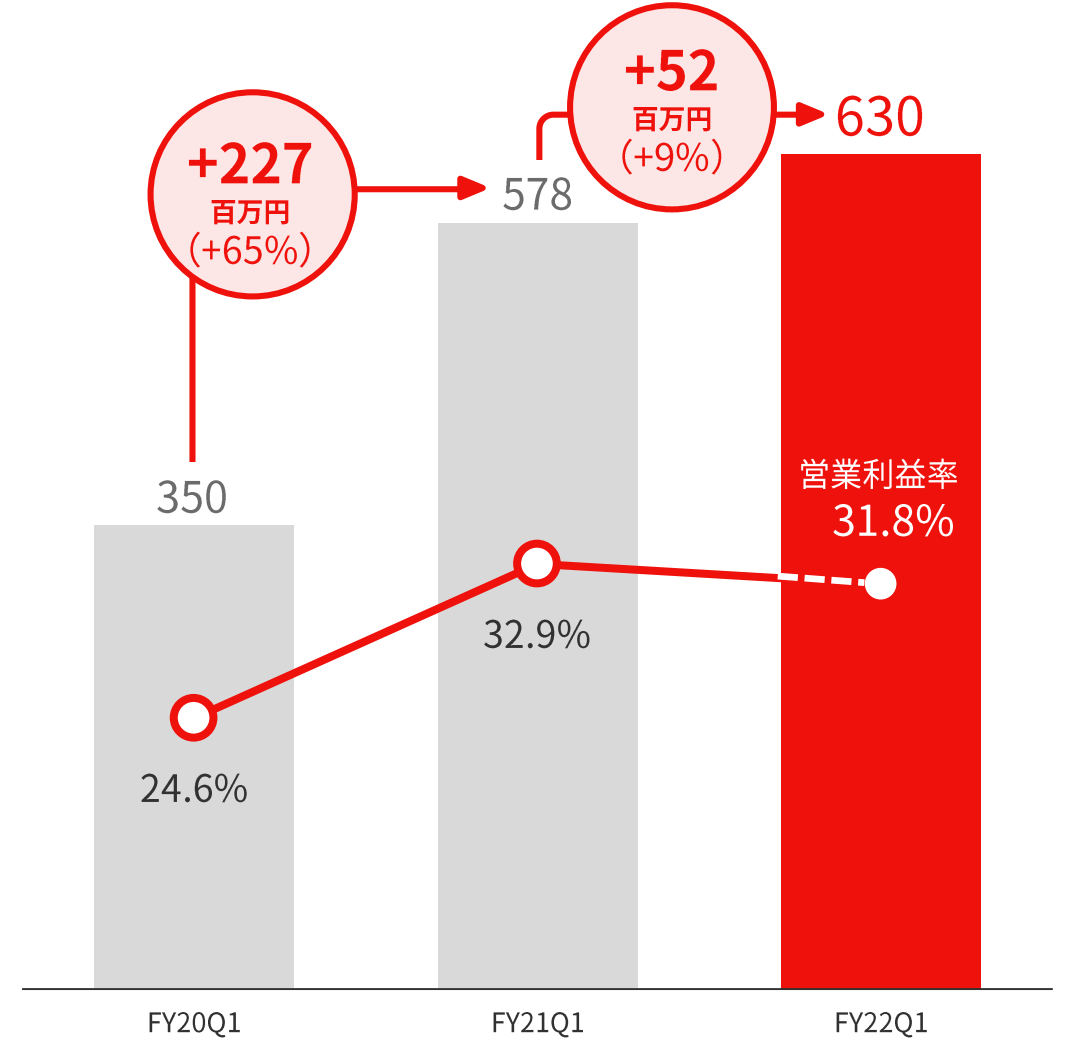


売上収益

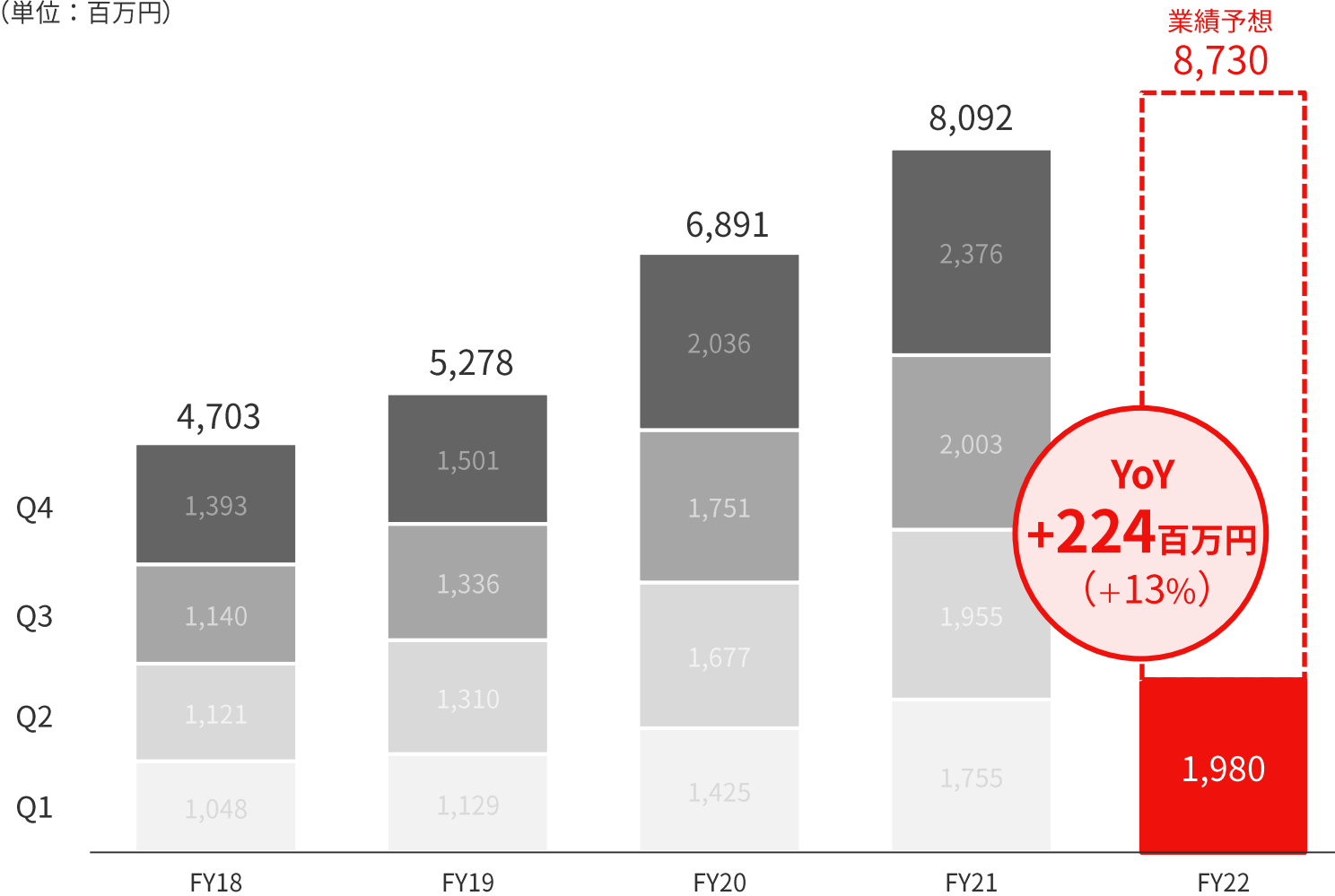
(単位：百万円)



営業利益



(単位：百万円)

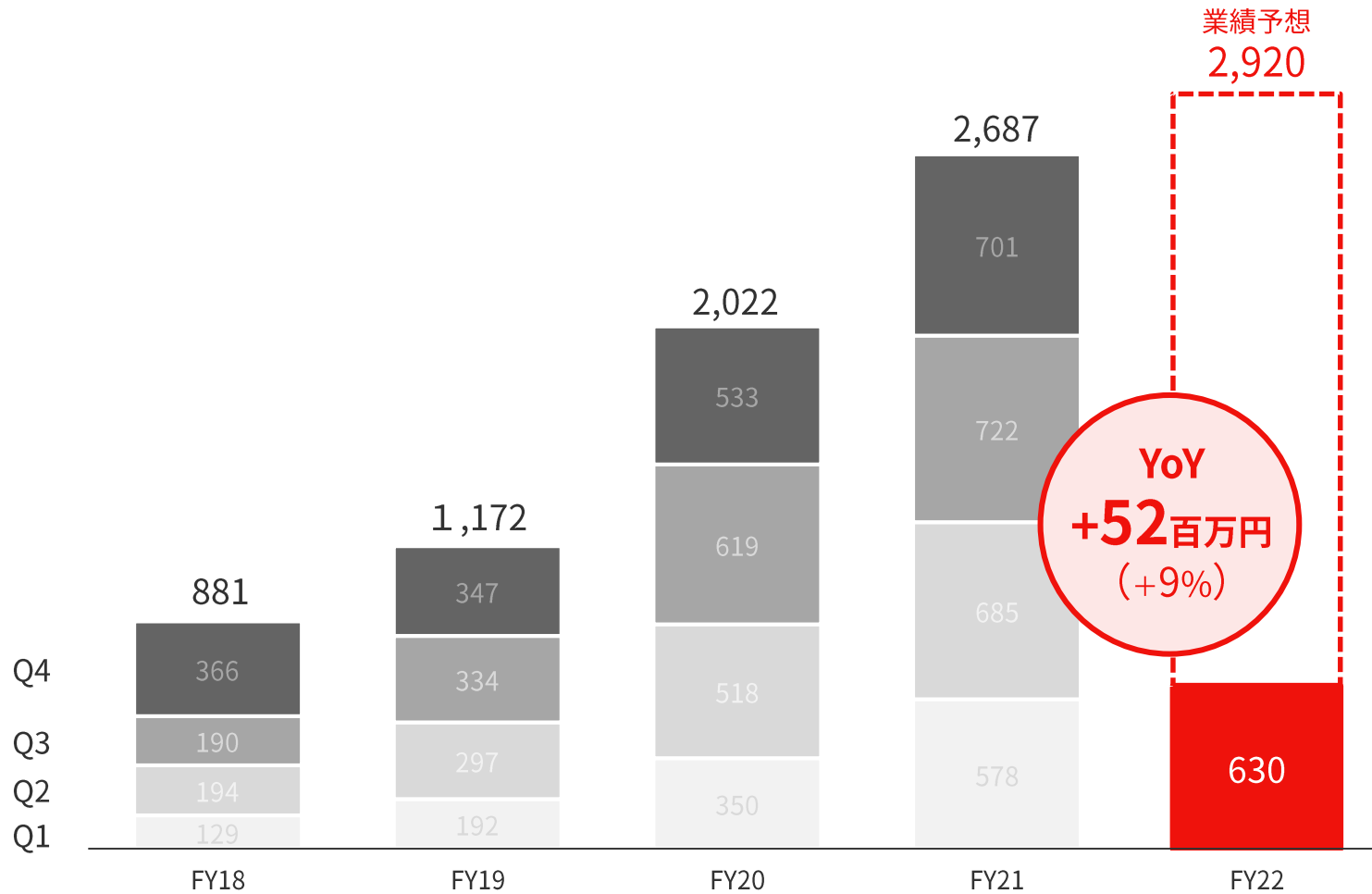


Q1 過去最高

Q1会計 **1,980**百万円

前期比 **+224**百万円
(+13%)

(単位：百万円)



Q1 過去最高

Q1会計

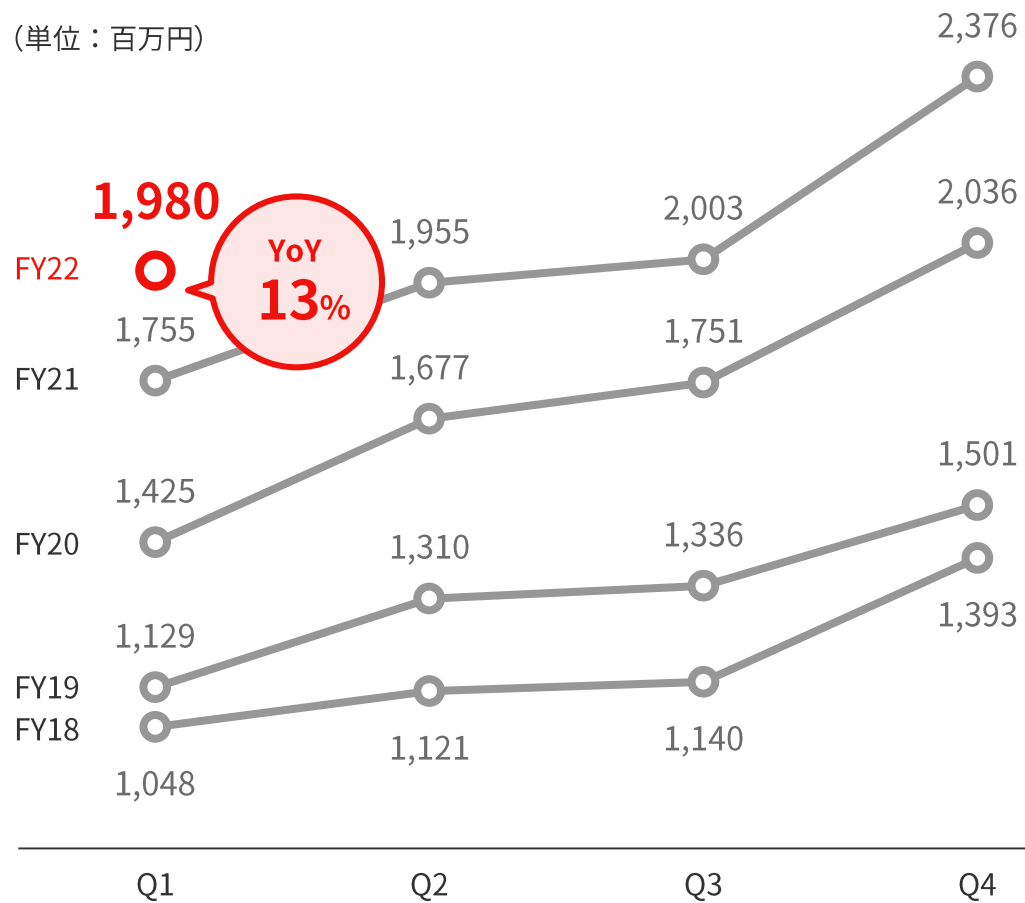
630百万円

前期比

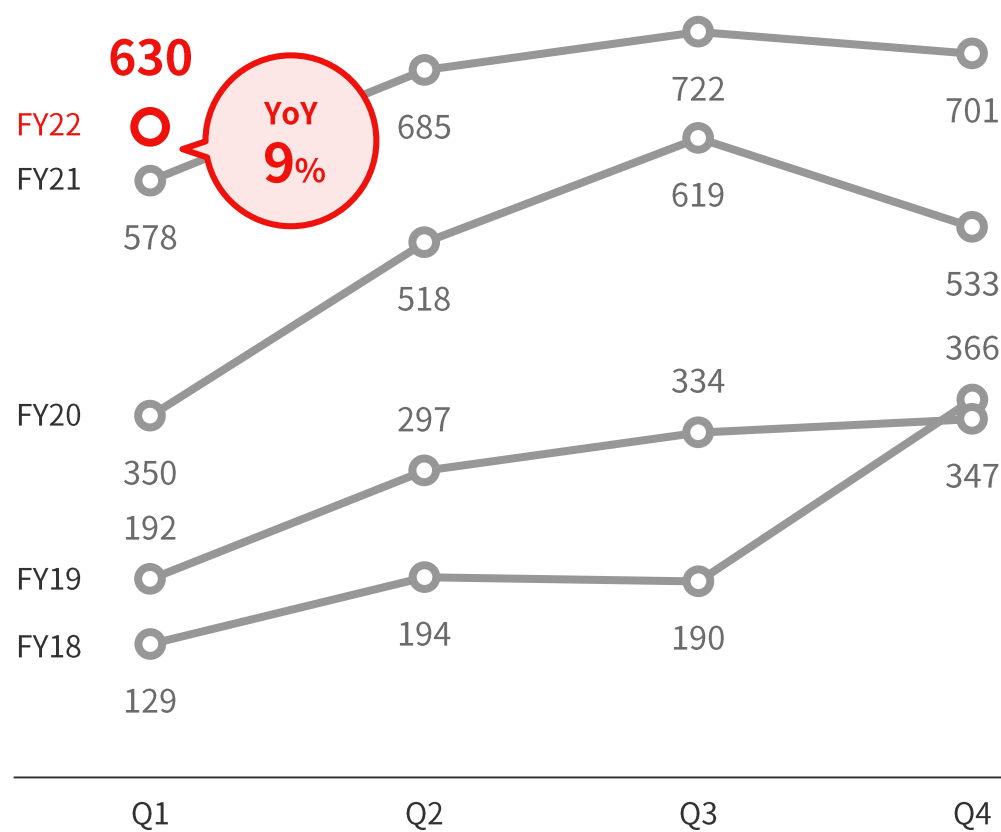
+52百万円
(+9%)

当期も四半期トレンドは継続。進捗は良好

売上収益



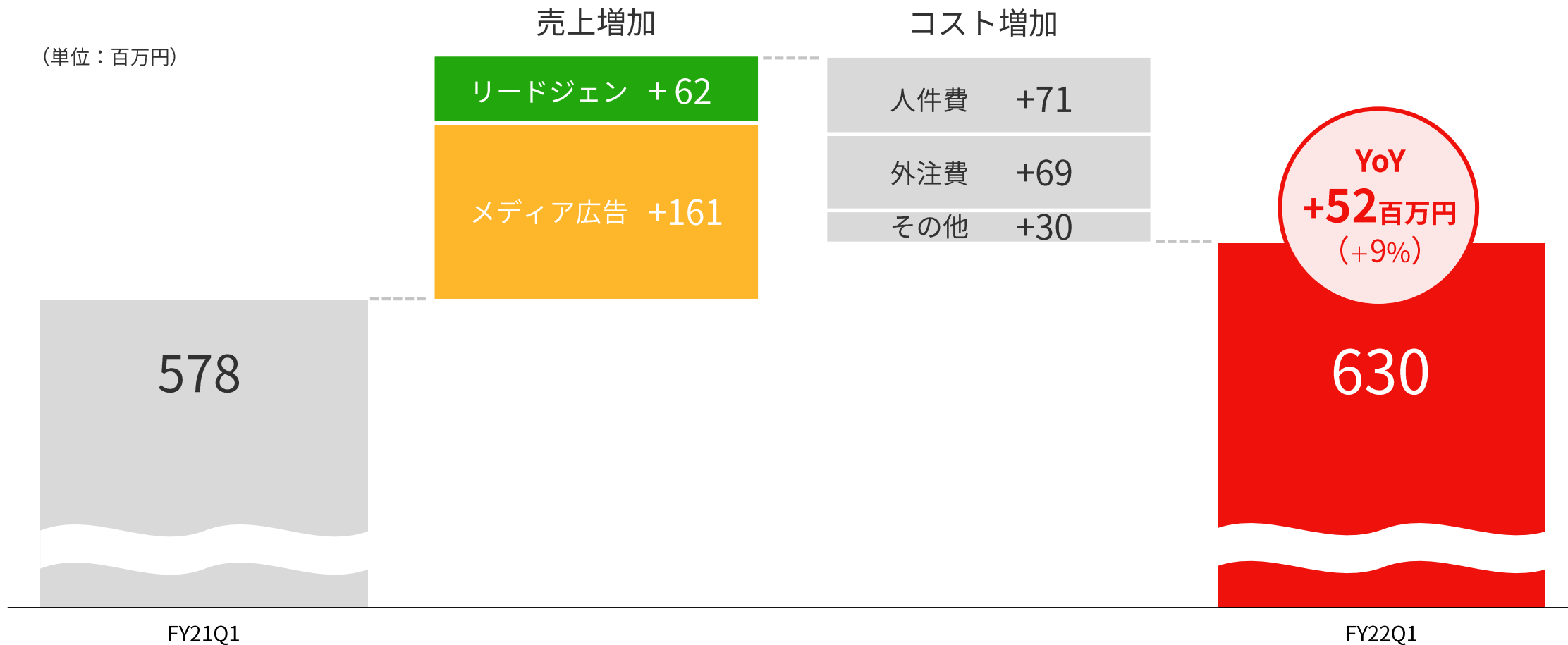
営業利益



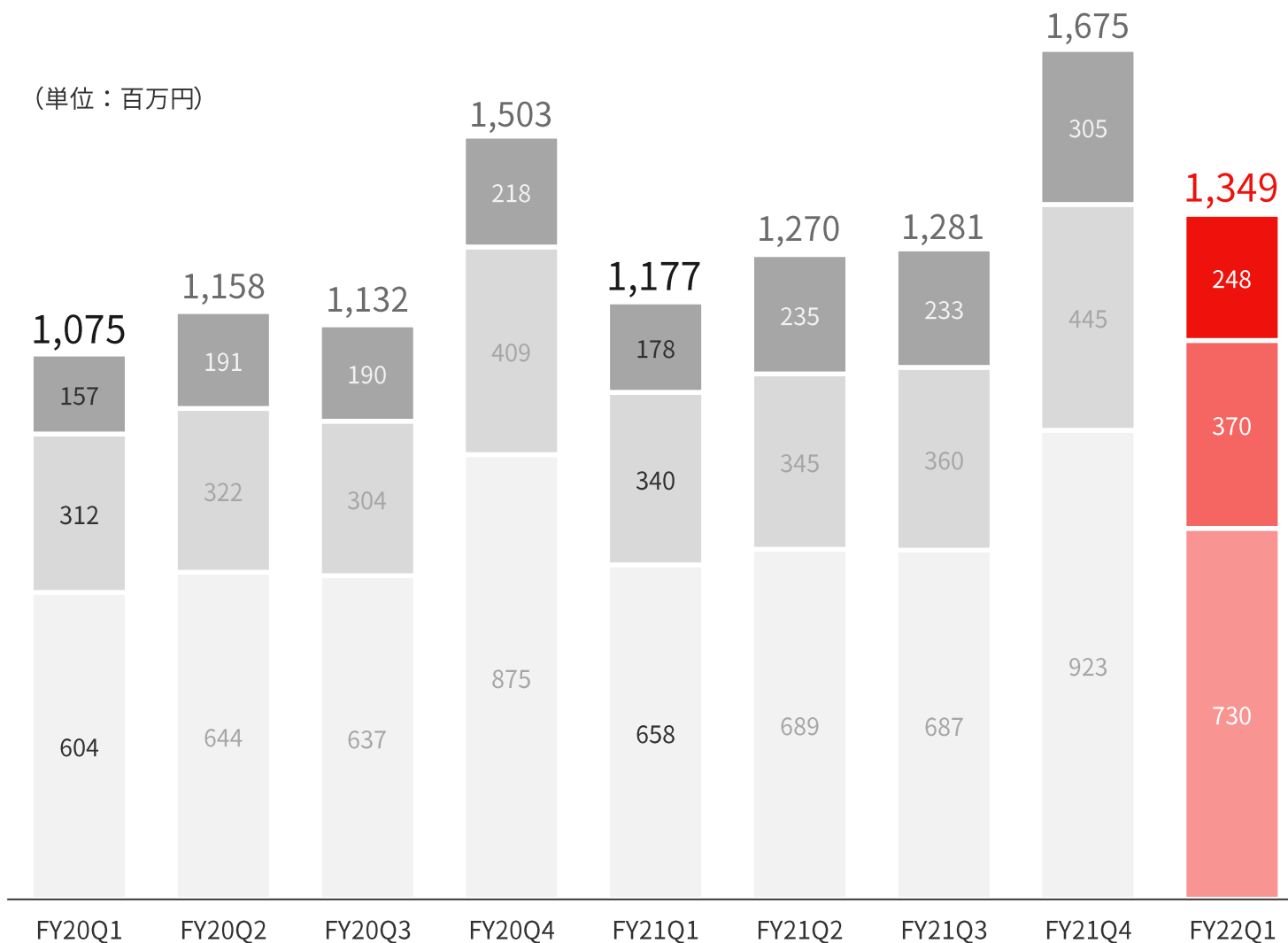
(単位：百万円)	FY21Q1		FY22Q1		増加額	増減率
	金額	売上比	金額	売上比		
売上収益	1,755	100.0%	1,980	100.0%	+224	+12.8%
総コスト	1,177	67.1%	1,349	68.2%	+171	+14.6%
(うち人件費)	658	37.5%	730	36.9%	+71	+10.9%
EBITDA	645	36.8%	693	35.0%	+47	+7.4%
営業利益	578	32.9%	630	31.8%	+52	+9.1%
税引前利益	572	32.6%	629	31.8%	+57	+10.0%
四半期利益	387	22.1%	428	21.6%	+40	+10.4%
親会社の所有者 に帰属する四半期利益	387	22.1%	428	21.6%	+40	+10.4%

※ EBITDA: 営業利益 + 減価償却費 + 無形資産の償却費 + 減損損失 + 株式報酬費用 - その他の一時収益 + その他の一時費用
2022年3月期Q4決算開示より株式報酬費用についても加算し、前期分も同様の算出をしております。

増収により増益。成長領域でのコンテンツ投資を強化



(単位：百万円)

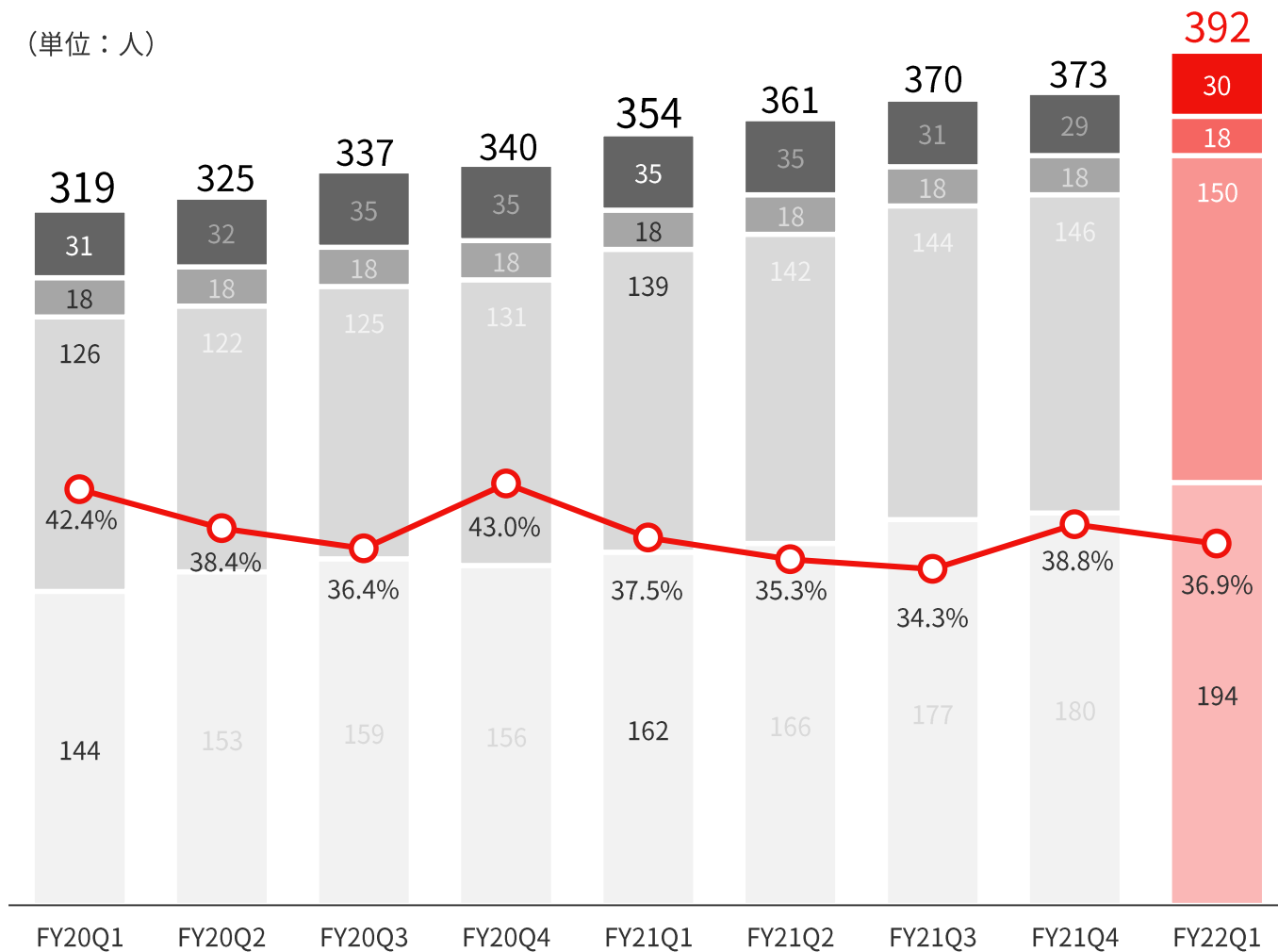


Q1会計	前期比	構成比
合計	+14.6%	100%
■ 外注費	+38.9%	18.4%
■ その他	+9.1%	27.5%
■ 人件費	+10.9%	54.1%

主な前期比増減要素

- 人件費 +71
 - ・ 成長領域での人員増加
- 外注費 +69
 - ・ コンテンツへの投資拡大
 - ・ デジタルイベント拡大に連動
- その他 +30
 - ・ 業務環境、システム

(単位：人)



	Q1会計	前年同期比	構成比
合計		+38人	100%
管理系・その他		▲5人	7.7%
技術系		±0人	4.6%
営業・企画系		+11人	38.3%
編集系		+32人	49.5%

*契約、派遣、アルバイトを含む

$$\text{売上収益人件費率} = \frac{\text{【販管費】人件費} + \text{【原価】労務費}}{\text{売上収益}} \times 100$$

(単位：百万円)	FY21Q1	FY22Q1	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	188	77	▲111
投資活動による キャッシュ・フロー	35	▲5	▲41
財務活動による キャッシュ・フロー	▲218	▲273	▲54
現金及び現金同等物の増減額	5	▲201	▲207
現金及び現金同等物の期首残高	5,877	6,815	+938
現金及び現金同等物の期末残高	5,882	6,613	+730

営業CF 主な内訳

税引前利益	+629
法人所得税の支払額	▲586
減価償却費及び償却費	+69

投資CF 主な内訳

有形固定資産及び無形資産の 取得による支出	▲5
--------------------------	----

財務CF 主な内訳

新株の発行による収入	+1
配当金の支払	▲230

(単位：百万円)		22年3月末	22年6月末	差異
資産の部	流動資産	8,728	8,336	▲391
	非流動資産	1,320	1,254	▲65
	資産合計	10,048	9,591	▲457
負債の部	流動負債	2,051	1,409	▲642
	非流動負債	64	63	▲1
	負債合計	2,115	1,472	▲643
資本の部	資本金/資本剰余金	3,933	3,928	▲4
	利益剰余金	5,143	5,334	+191
	自己株式	▲1,144	▲1,144	-
	他包括利益累計額	-	-	-
	親会社の所有者に 帰属する持分	7,932	8,118	+186
	資本合計	7,932	8,118	+186
	1株当たり 親会社の所有者に帰属する持分	401.34円	410.72円	+ 9.37円
親会社所有者帰属持分比率	78.9%	84.6%	+ 5.7pt	

資産合計

現金及び現金同等物	▲201
営業債権及びその他の債権	▲192
使用権資産	▲43

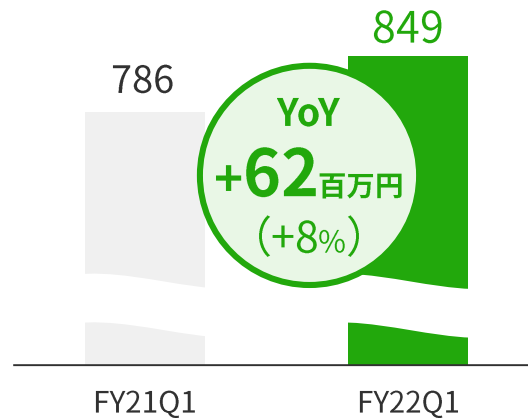
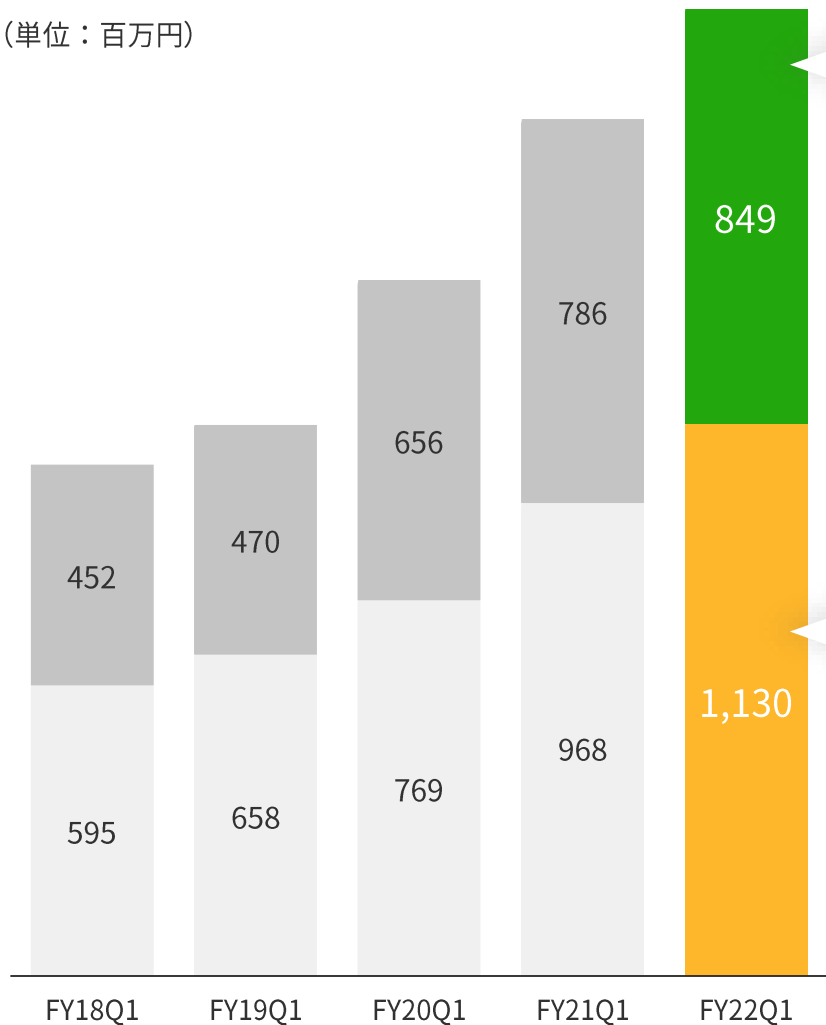
負債合計

未払法人所得税	▲384
営業債務及びその他の債務	▲130
リース負債	▲44
その他の流動負債	▲64

資本合計

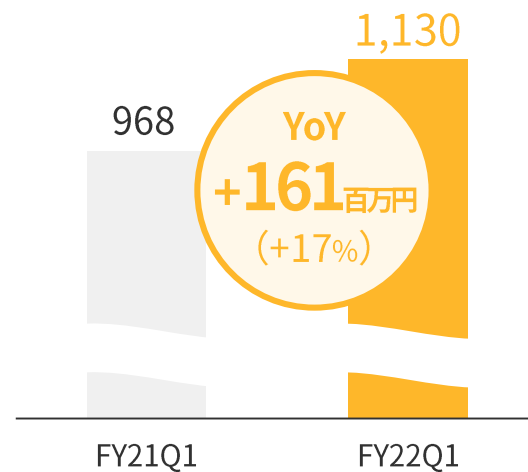
利益剰余金	+191
うち、四半期利益	(+428)
うち、剰余金の配当	(▲237)

(単位：百万円)



リードジェン事業

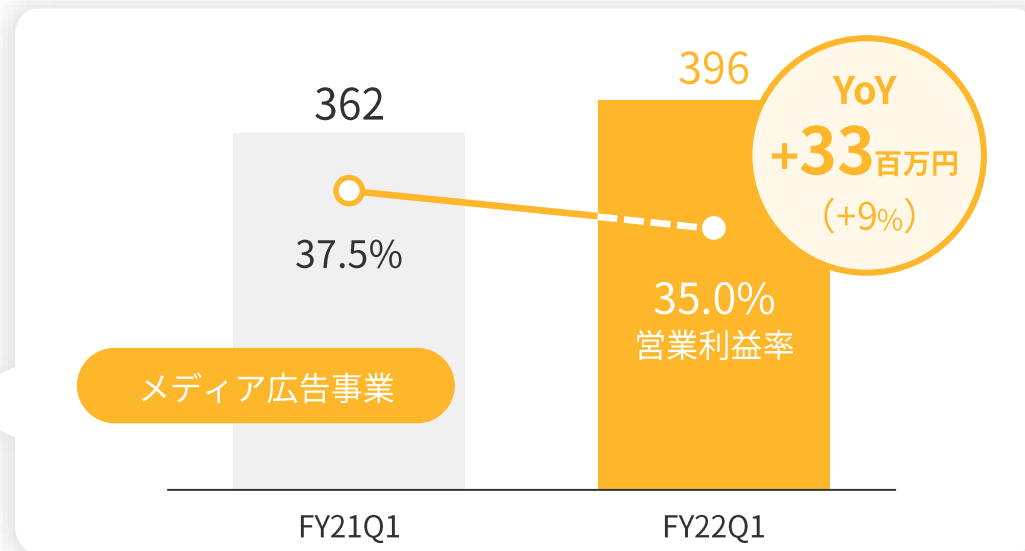
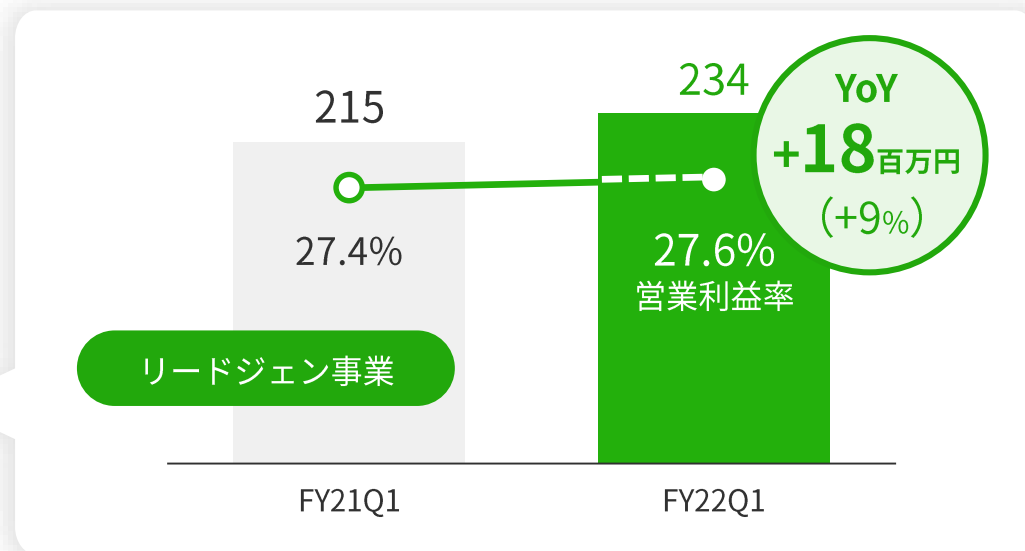
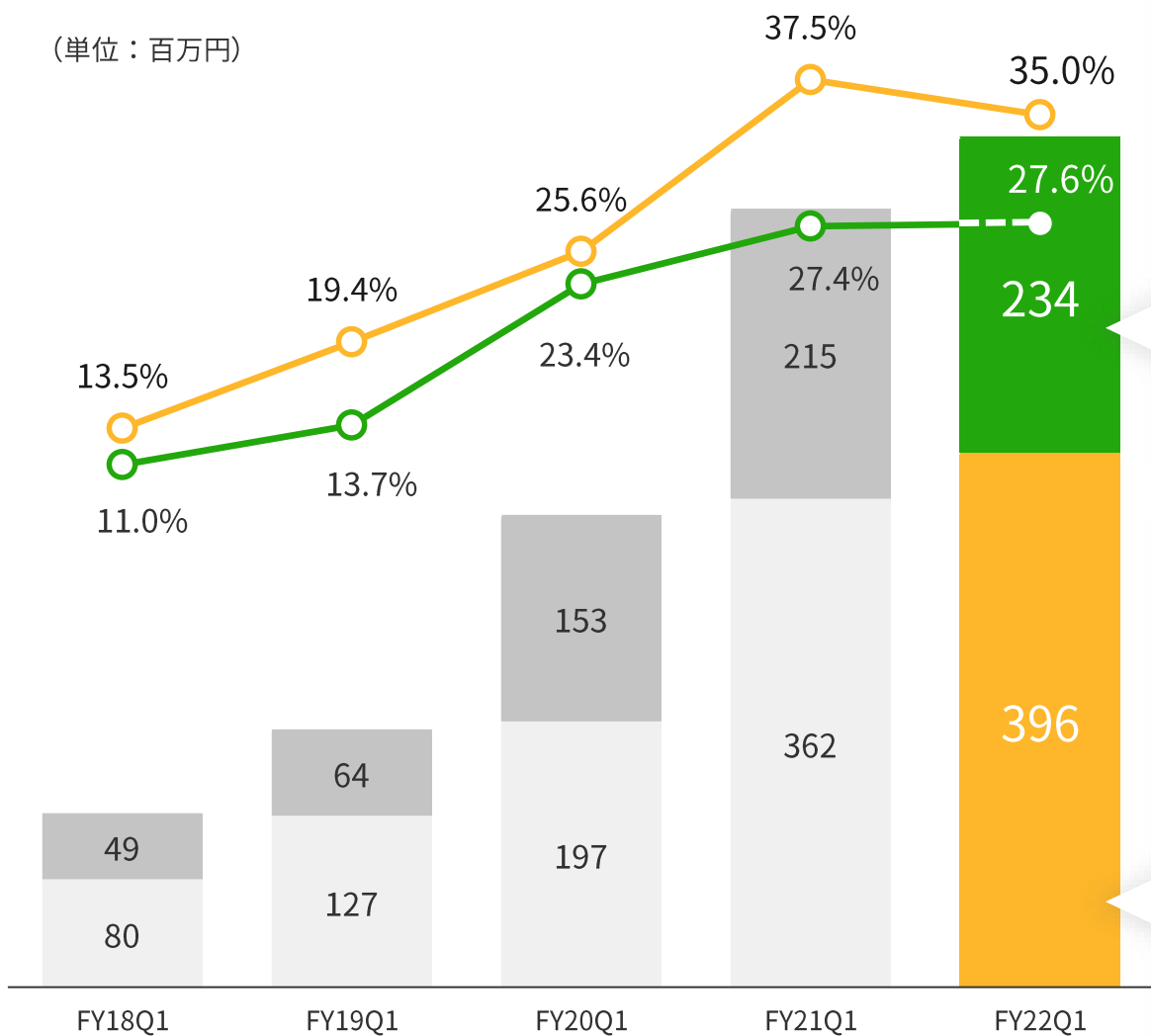
- マーケティングのデジタルシフト継続



メディア広告事業

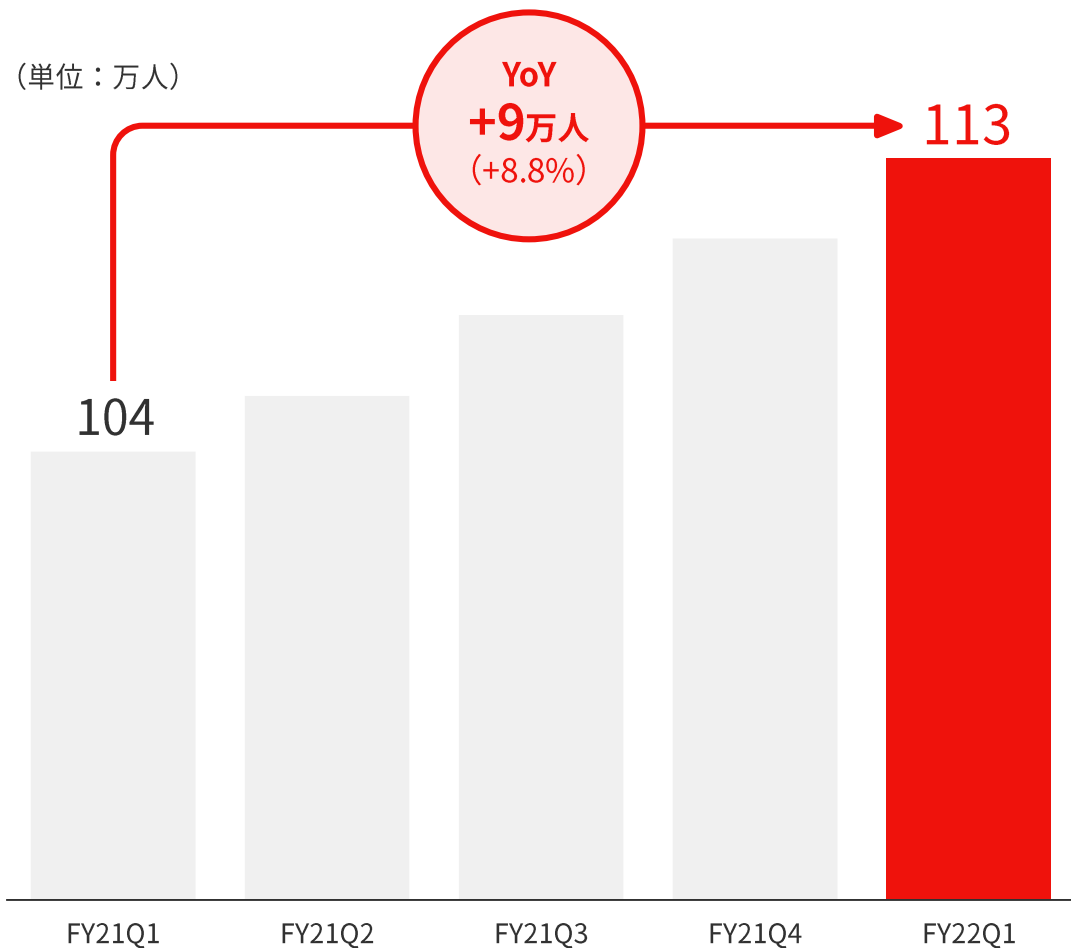
- DX加速背景に製造系、クラウド・SaaS系顧客ニーズ拡大
- 主催型デジタルイベント好調
- 運用型広告収益拡大

(単位：百万円)



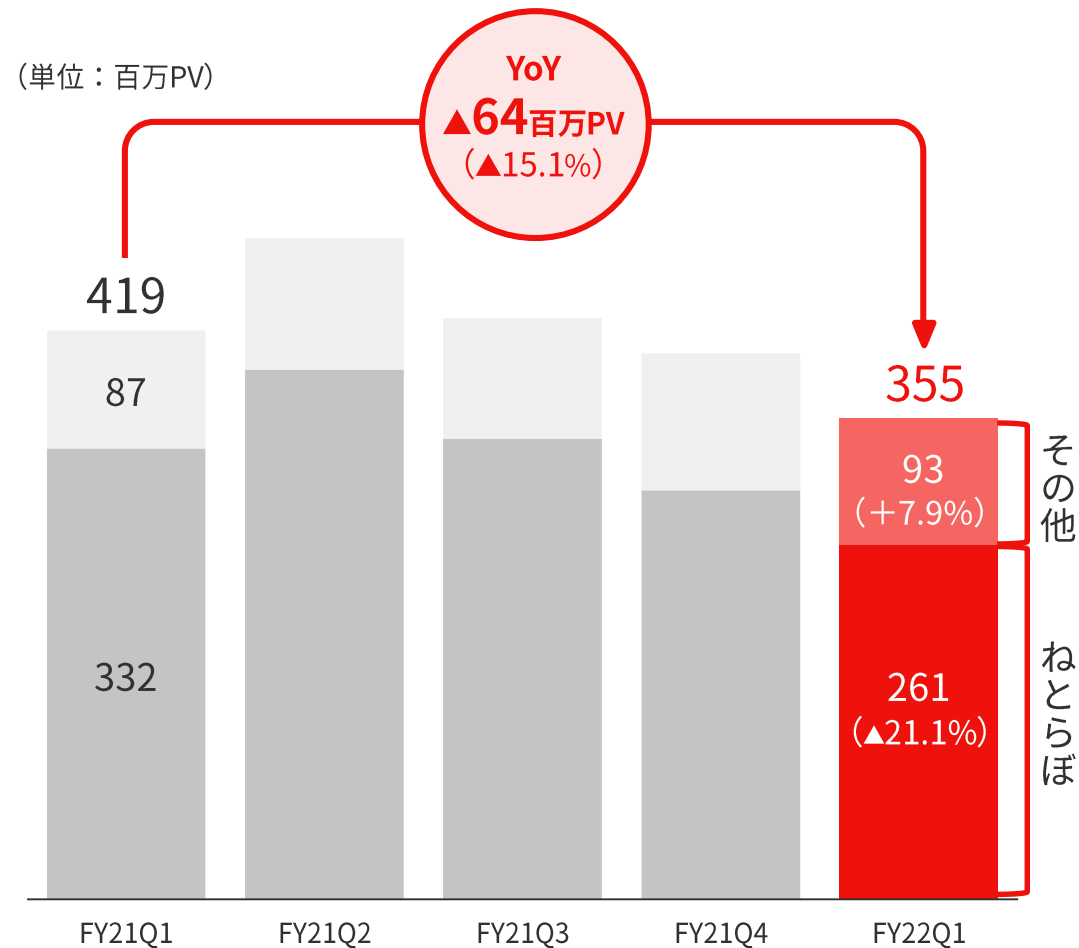
リードジェン会員数*1

(単位：万人)



PV数 (月平均)

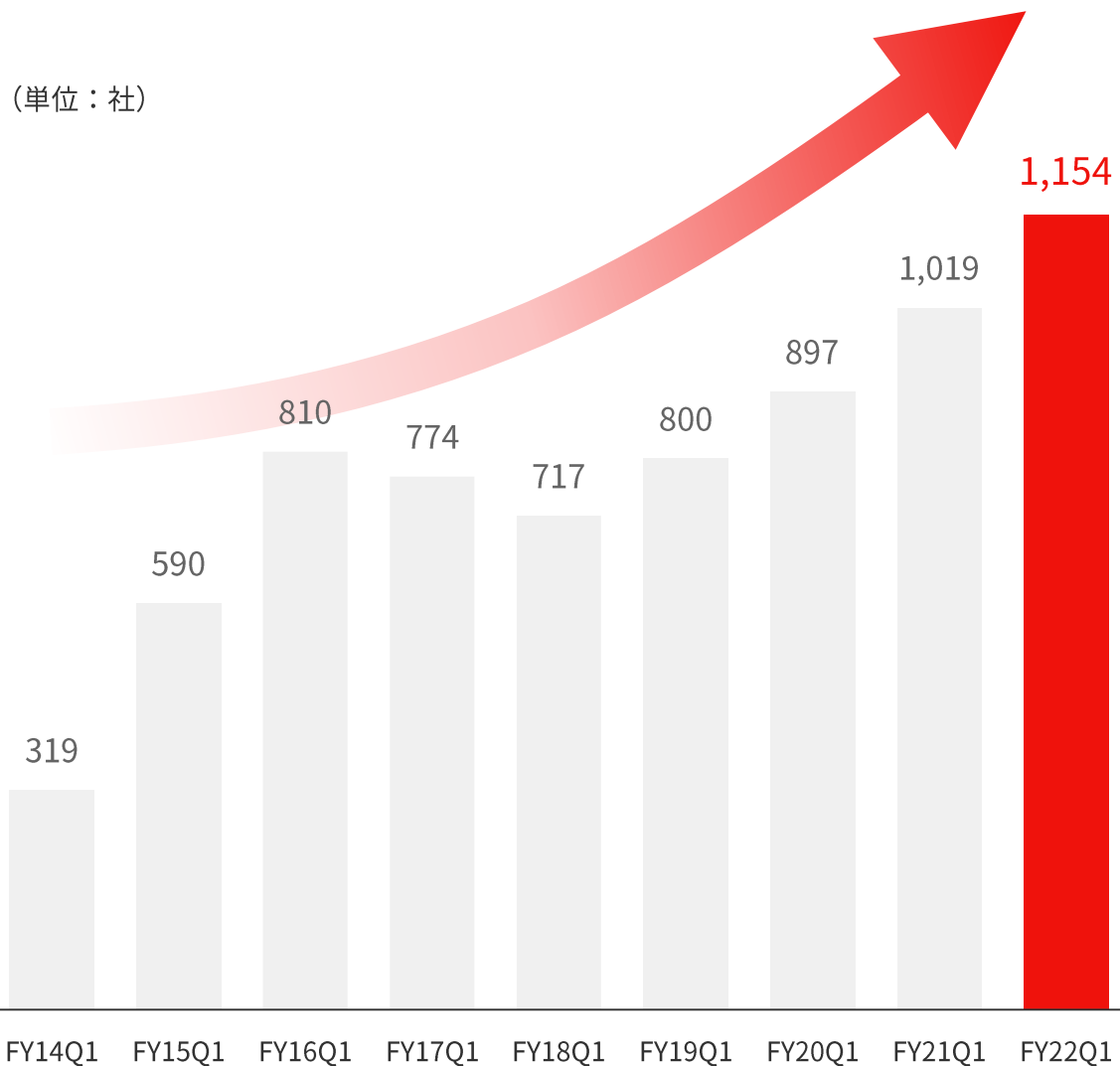
(単位：百万PV)



*1：共通会員基盤「アイティメディア ID」上でリードジェンサービスの対象となっている会員数

中期目標 X40に向けコンテンツ投資を強化





クラウド・SaaS、
産業DX領域での
コンテンツ強化



各領域で顧客数が増加

* 当該期間中に売上計上のあった社数

リードジェン

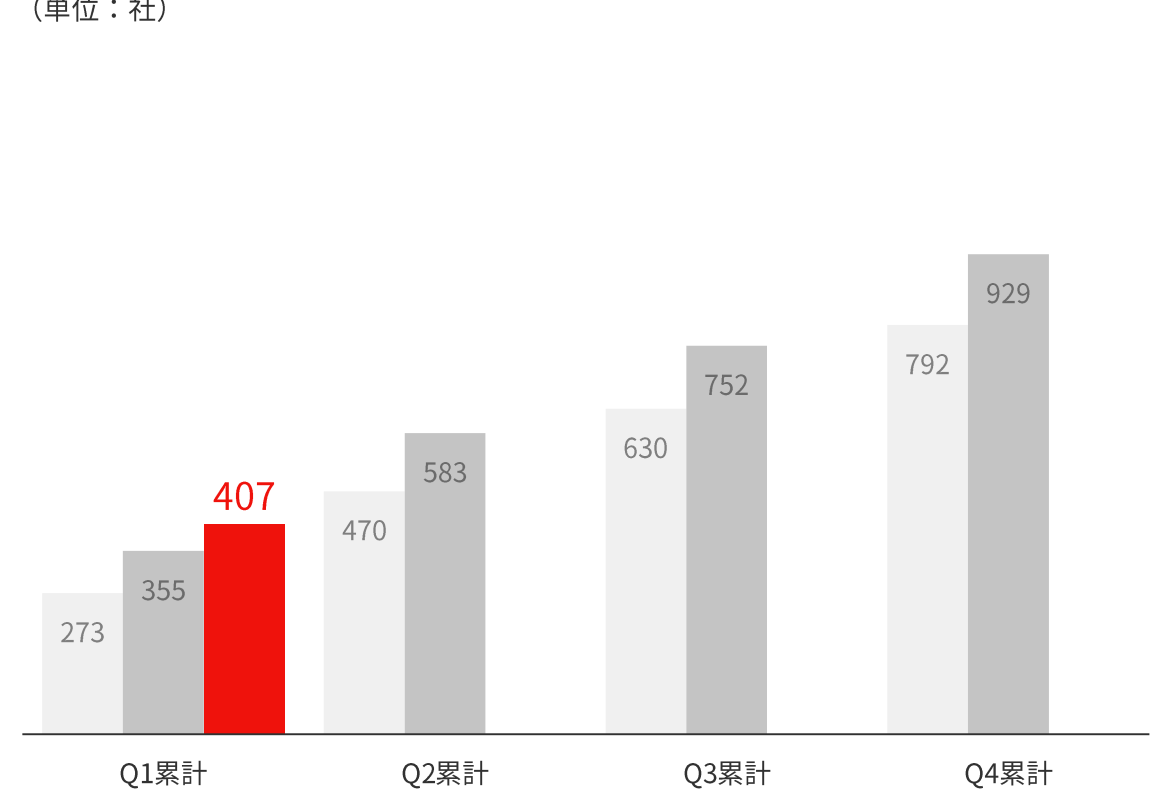
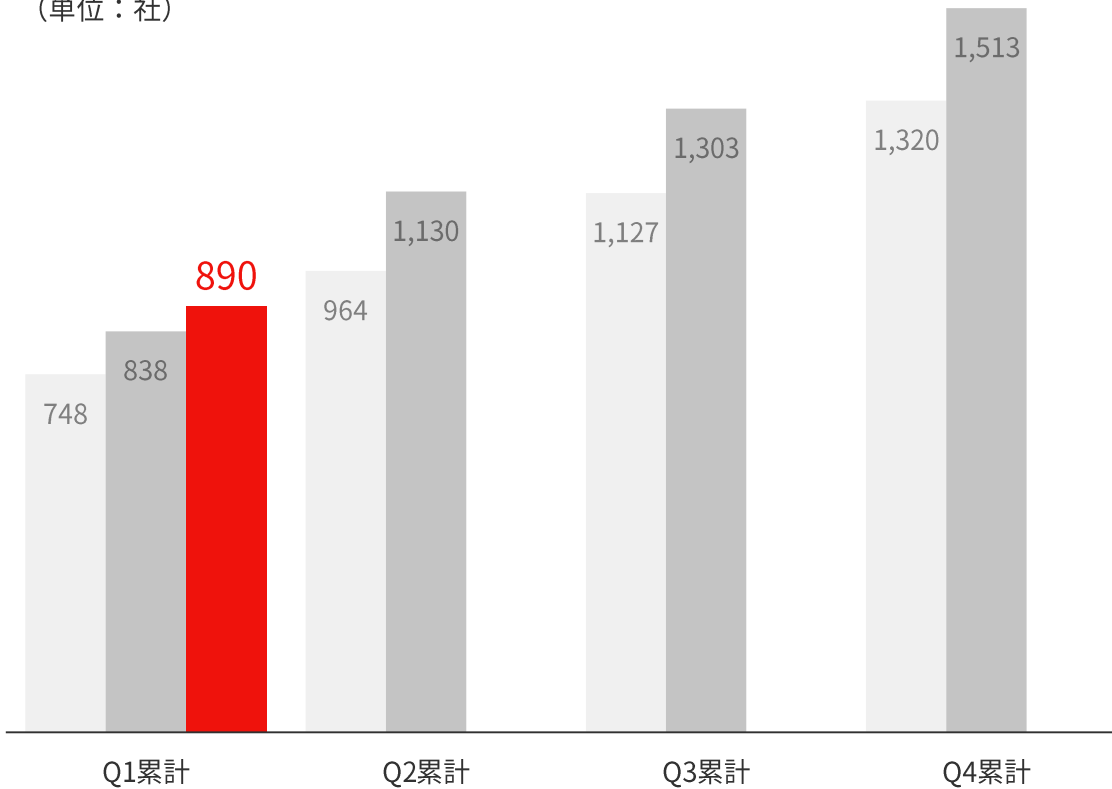
メディア広告

■ FY20 ■ FY21 ■ FY22

■ FY20 ■ FY21 ■ FY22

(単位：社)

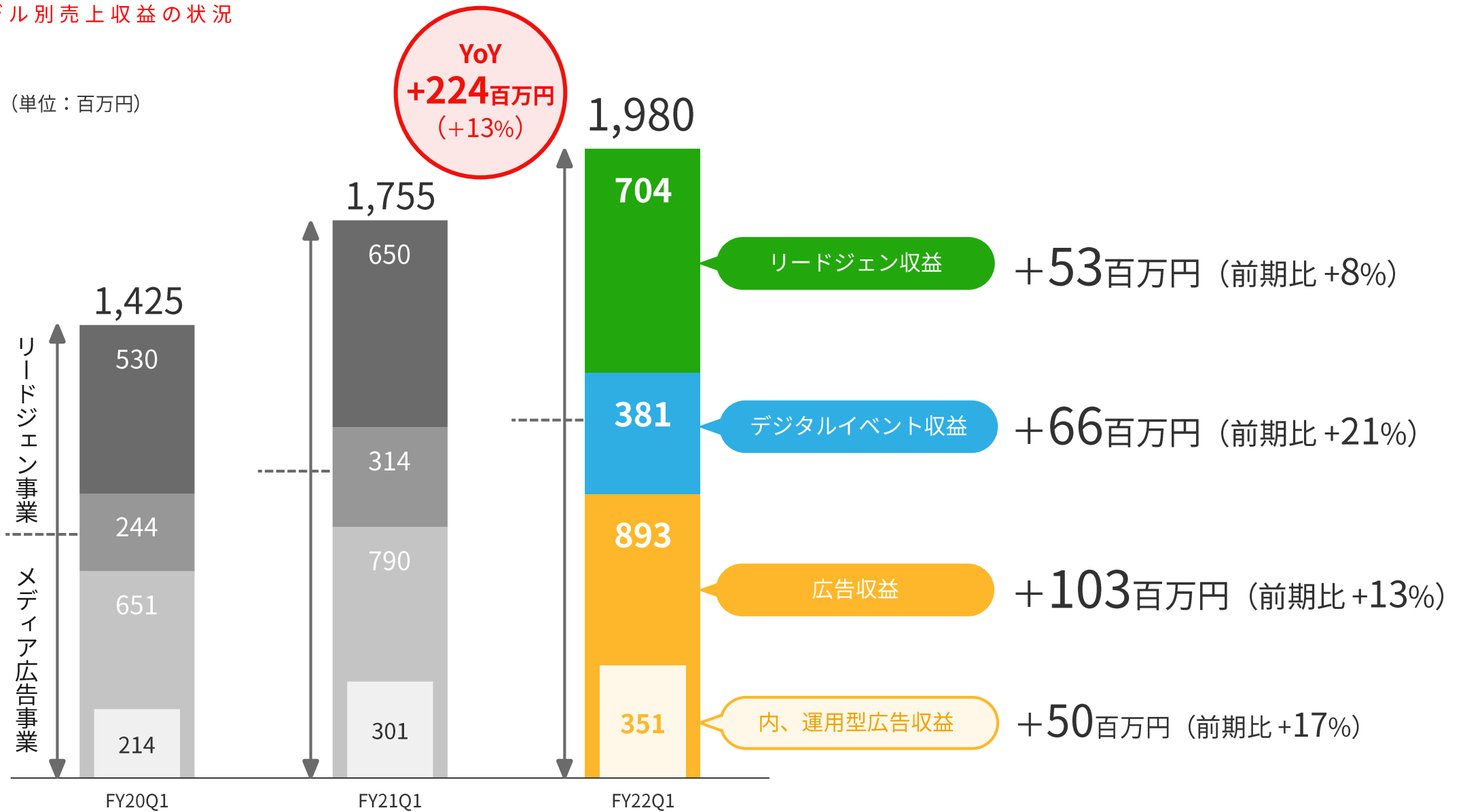
(単位：社)



* 当該期間中に売上計上のあった社数

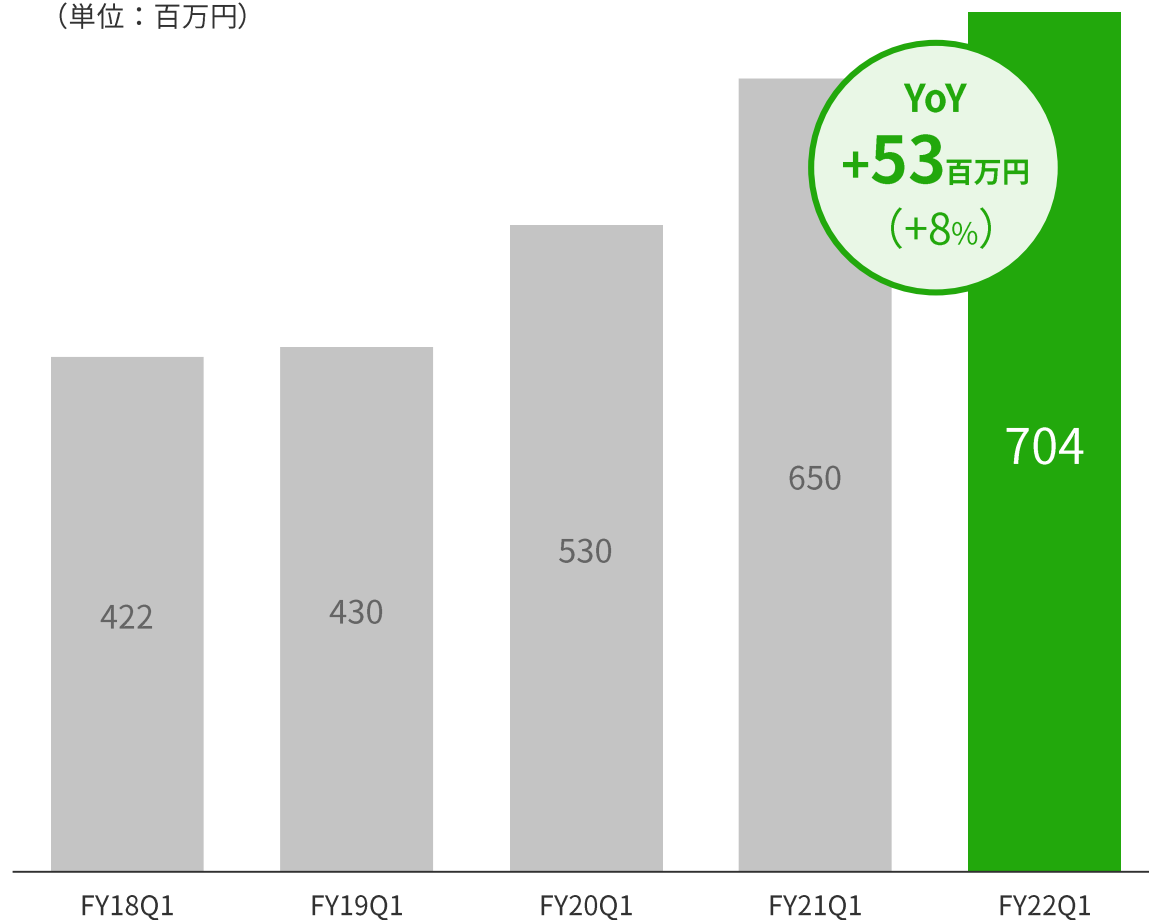
収益モデル別売上収益の状況

(単位：百万円)



※四半期推移データ：付録資料編参照

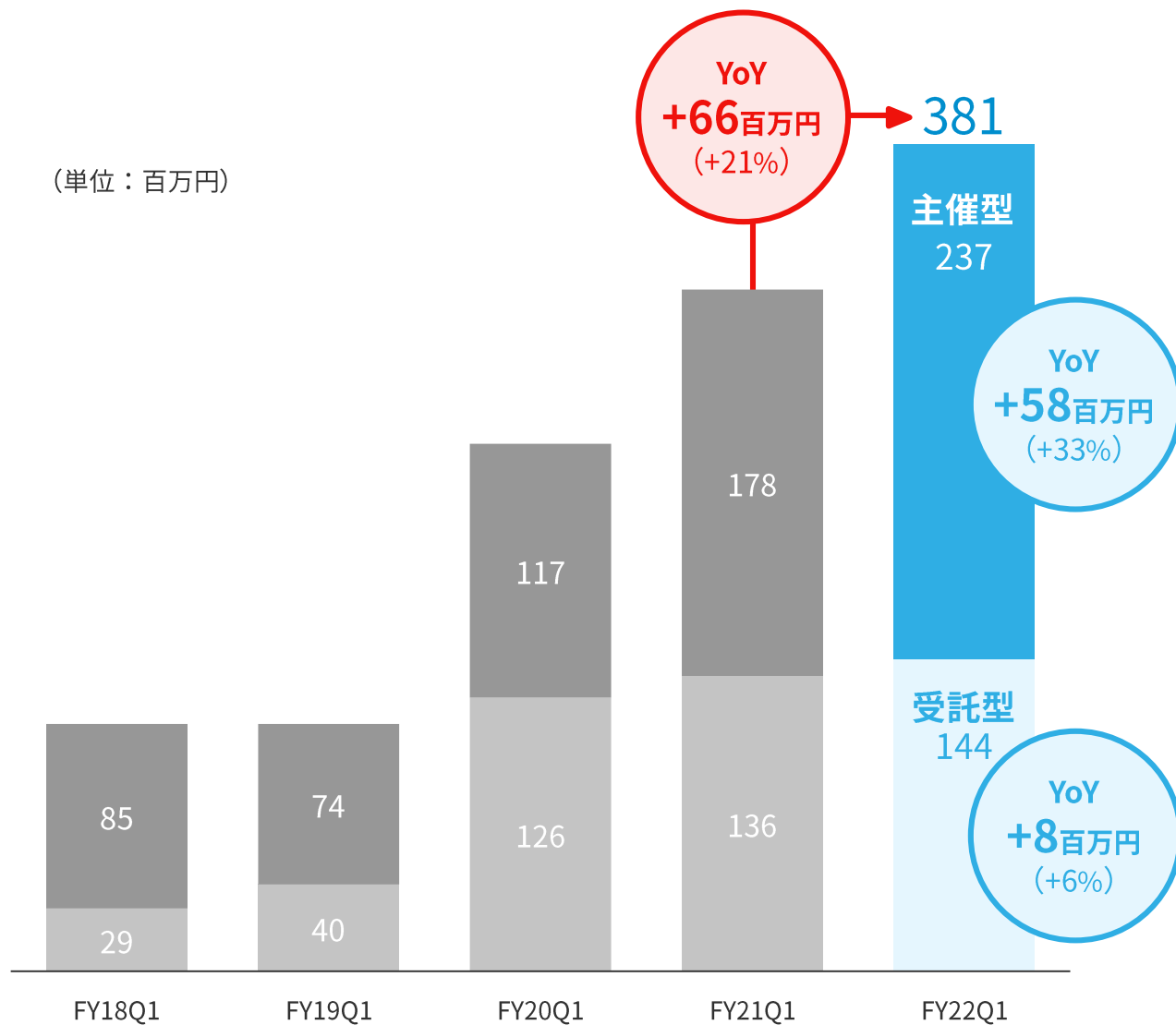
(単位：百万円)



二一ズ拡大継続
堅実な成長

Q2以降も
コンテンツ投入の
効果を期待

(単位：百万円)

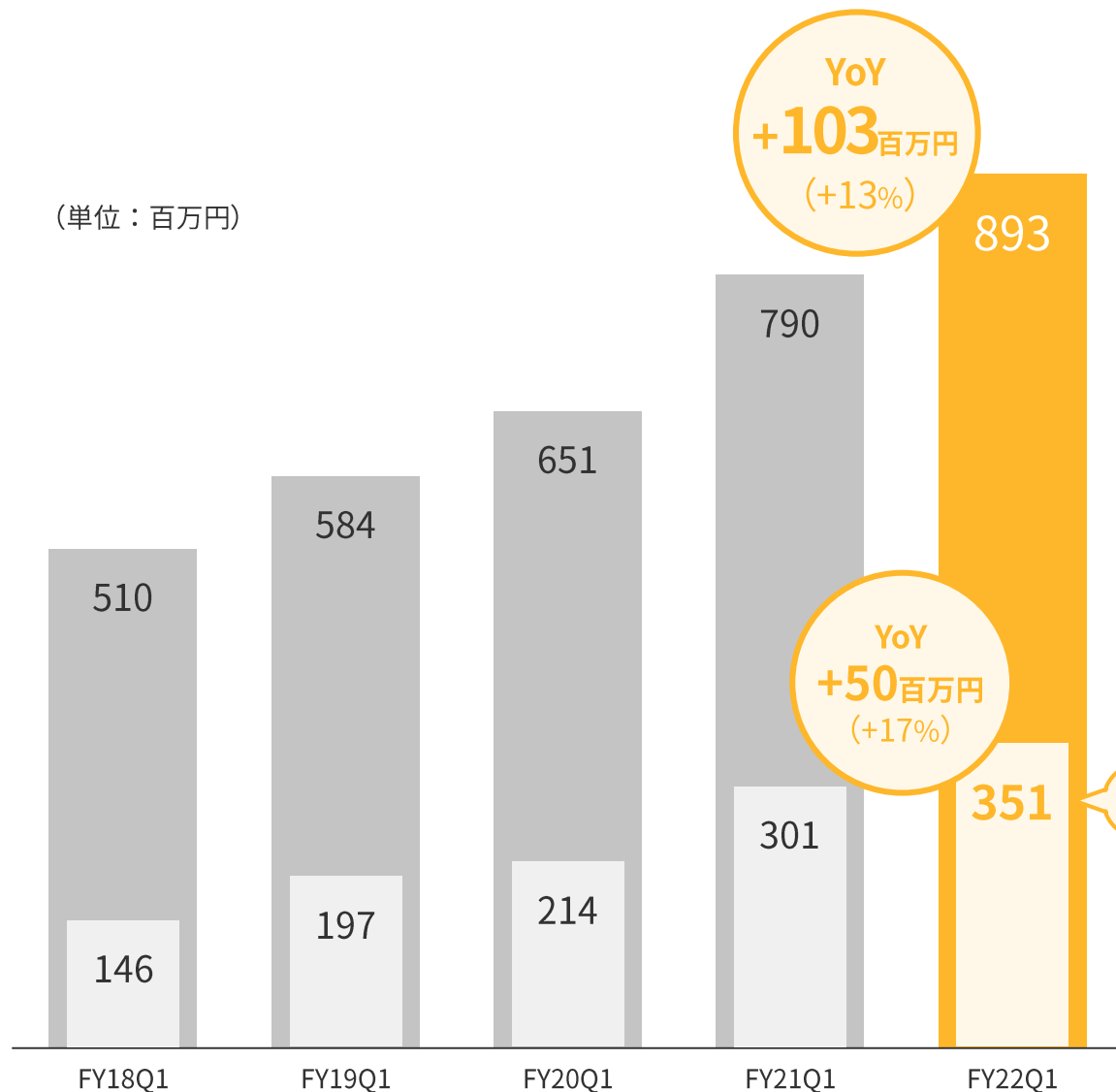


デジタルシフト継続

主催型中心の成長



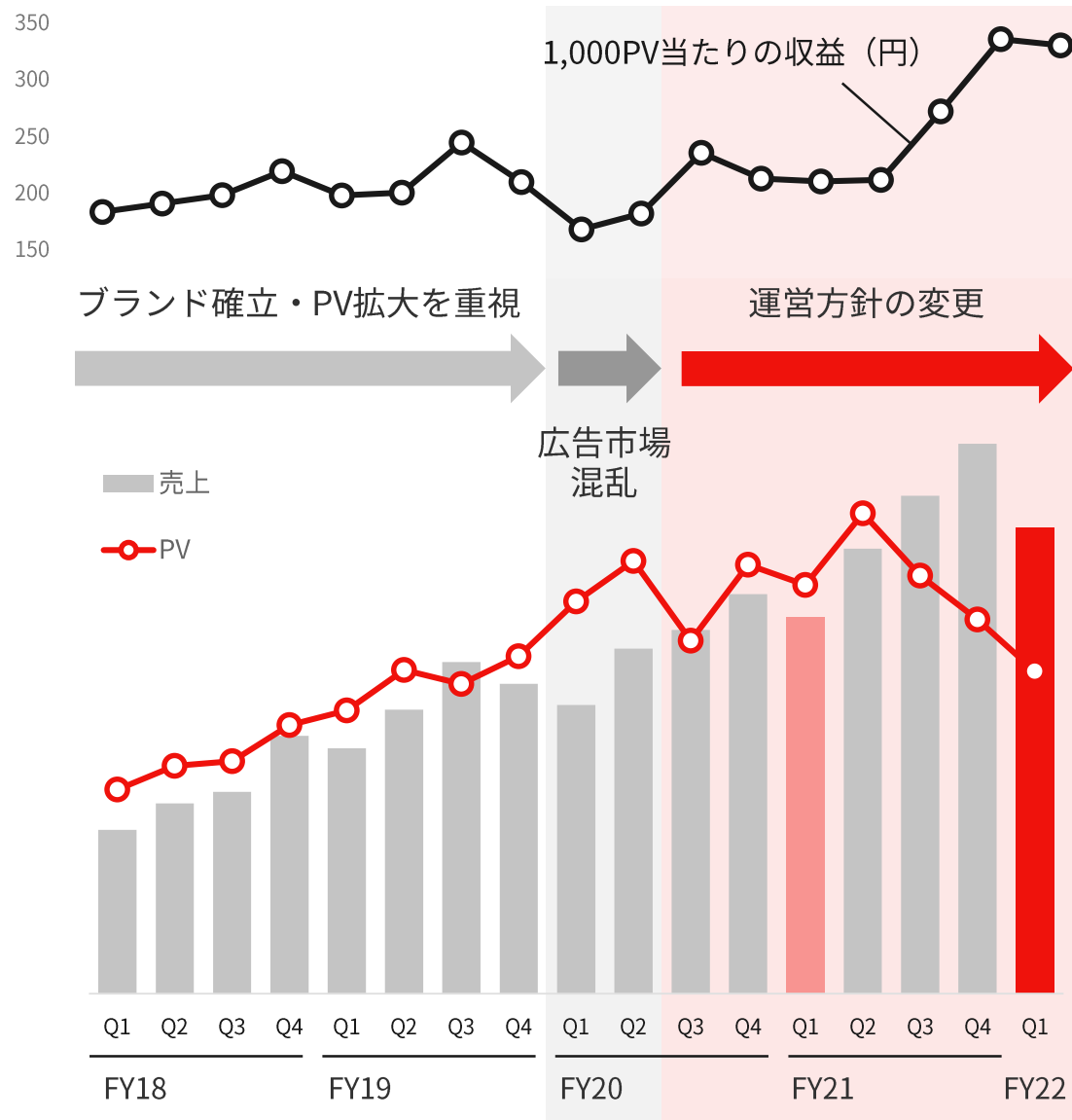
(単位：百万円)



スマート&ソーシャル 運用型が成長けん引

内、運用型広告収益

広告収益：ねとらぼ 売上とPVの推移



当期の想定

FY20Q3以降の方針変更奏功
 総PVはやや鈍化
 収益性の高いPVの拡大継続
 +
 コロナ収束 広告市場単価改善期待

Q1の状況

PV、広告単価の動向は想定内
 増収継続
 運用型広告管理システムを更新



2023年3月期 第1四半期 業績概況

サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想

各四半期ごとの進捗をお知らせします

サステナビリティ：当期の重点トピック（2022年4月28日公開）

Q1 

マテリアリティ
の特定

Q1 

英文開示拡充

Q2
以降予定 

気候変動①
脱炭素関連
コンテンツ拡充

Q1 

ダイバーシティ
推進

Q2
以降予定 

SDGs 関連
コンテンツ拡充

Q2
以降予定 

気候変動②
関連の
情報開示拡充




ITmedia Inc.

企業理念

メディアの革新を通じて 情報革命を実現し、社会に貢献する

- ・ 専門性・信頼性の高い情報選択により、知恵と知識の向上、情報格差の解消に貢献します。
- ・ テクノロジーの進化と共にメディア事業を革新し続けます。
- ・ 社会的知識基盤としての情報コミュニティを提供します。






1
Materiality

情報革命を通じた 人類の明るい未来の実現

優れたIT人材を世に多く輩出し、IT産業の振興とテクノロジーの普及を進めることで社会全体の生産性向上と社会課題解決を促し、人類社会の発展に貢献する。


社会的価値



2
Materiality

社会的知識基盤の提供を通じた 平等な社会の実現

付加価値の高い信頼のできる知識や情報を全ての人に提供する基盤を構築することで情報格差を解消し、誰一人取り残さない平等な社会を実現する。




3
Materiality

責任ある 情報技術の活用

信頼性の高い情報を正しい方法で伝え、また情報やテクノロジーが倫理的で適切に活用される環境を醸成することで、イノベーション推進の基盤を強化する。


メディアの力



4
Materiality

多様性を尊重した 働き方の推進

多様な人材が安心して活躍できる環境を整備することで、従業員のモチベーションや生産性を高め、企業の持続的な成長を目指していく。



5
Materiality

強固で透明性の高い ガバナンス体制の構築

透明性を高め、中長期的な企業成長に繋がる強固なガバナンス体制を構築することで、全てのステークホルダーからの信頼を獲得する。


責任ある事業基盤

マテリアリティ	解説	社会課題	SDGs
<p>1 情報革命を通じた 人類の明るい未来の実現</p>	<p>優れたIT人材を世に多く輩出し、IT産業の振興とテクノロジーの普及を進めることで社会全体の生産性向上と社会課題解決を促し、人類社会の発展に貢献する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上 IT人材不足に対応するための次世代育成 社会のITリテラシー向上 	
<p>2 社会的知識基盤の提供を通じた 平等な社会の実現</p>	<p>付加価値の高い信頼のできる知識や情報を全ての人に提供する基盤を構築することで情報格差を解消し、誰一人取り残さない平等な社会を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会的知識基盤の提供 アクセシビリティ確保・情報格差解消 情報の信頼性と安心の確保 	
<p>3 責任ある情報技術の活用</p>	<p>信頼性の高い情報を正しい方法で伝え、また情報やテクノロジーが倫理的で適切に利活用される環境を醸成することで、イノベーション推進の基盤を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公正なマーケティング 情報セキュリティの確保 テクノロジーの適切な利活用 	
<p>4 多様性を尊重した 働き方の推進</p>	<p>多様な人材が安心して活躍できる環境を整備することで、従業員のモチベーションや生産性を高め、企業の持続的な成長を目指していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 差別・ハラスメントの禁止 多様性を尊重した働き方の推進 	
<p>5 強固で透明性の高い ガバナンス体制の構築</p>	<p>透明性を高め、中長期的な企業成長に繋がる強固なガバナンス体制を構築することで、全てのステークホルダーからの信頼を獲得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 透明性の高いガバナンス体制の構築 知的財産権の有効活用 情報の適切な開示 	

 **スマートワーク**

Q1 テレワーク実施率 88%

再度の感染拡大懸念もリスクは最小化

 **ガバナンス体制強化**

データドリブン領域でのリーダーシップ強化

社外取締役 渡邊 桂子

執行役員 武藤 丈士

 **ダイバーシティ**

女性活躍推進プロジェクトをスタート

目標：管理職における女性比率 30%

実行計画を策定中

 **情報開示**

マテリアリティ等

サステナビリティ関連情報の開示を強化

決算説明資料等、英文開示を強化



2023年3月期 第1四半期 業績概況

サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想

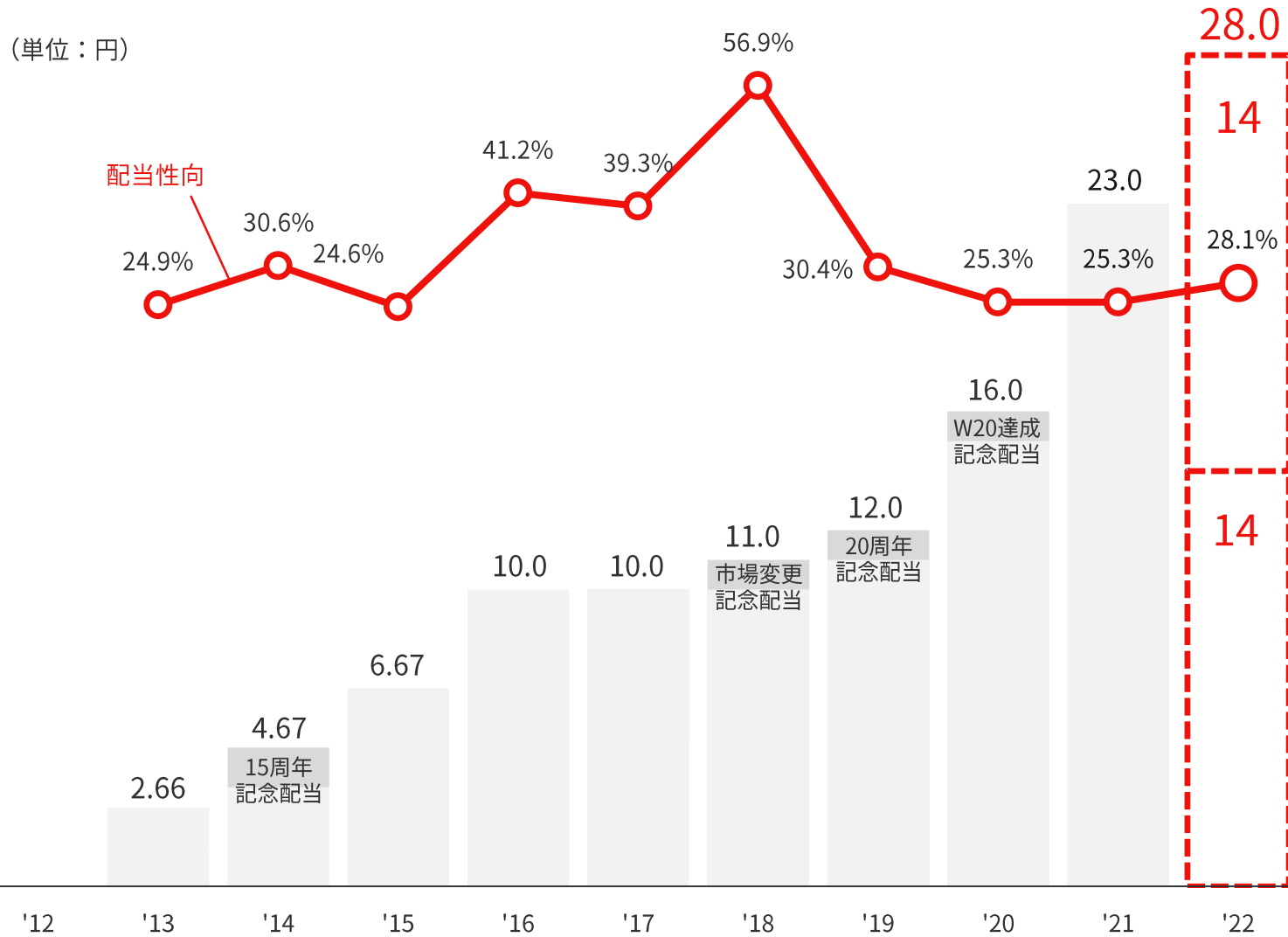
- ・ 最高益更新継続
- ・ 中期成長のための投入前倒し



想定通りに進捗中

(単位：百万円)	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益
通期	8,730	2,920	1,970
前期比	(+7.9%)	(+8.7%)	(+9.4%)
前期実績	8,092	2,687	1,800

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

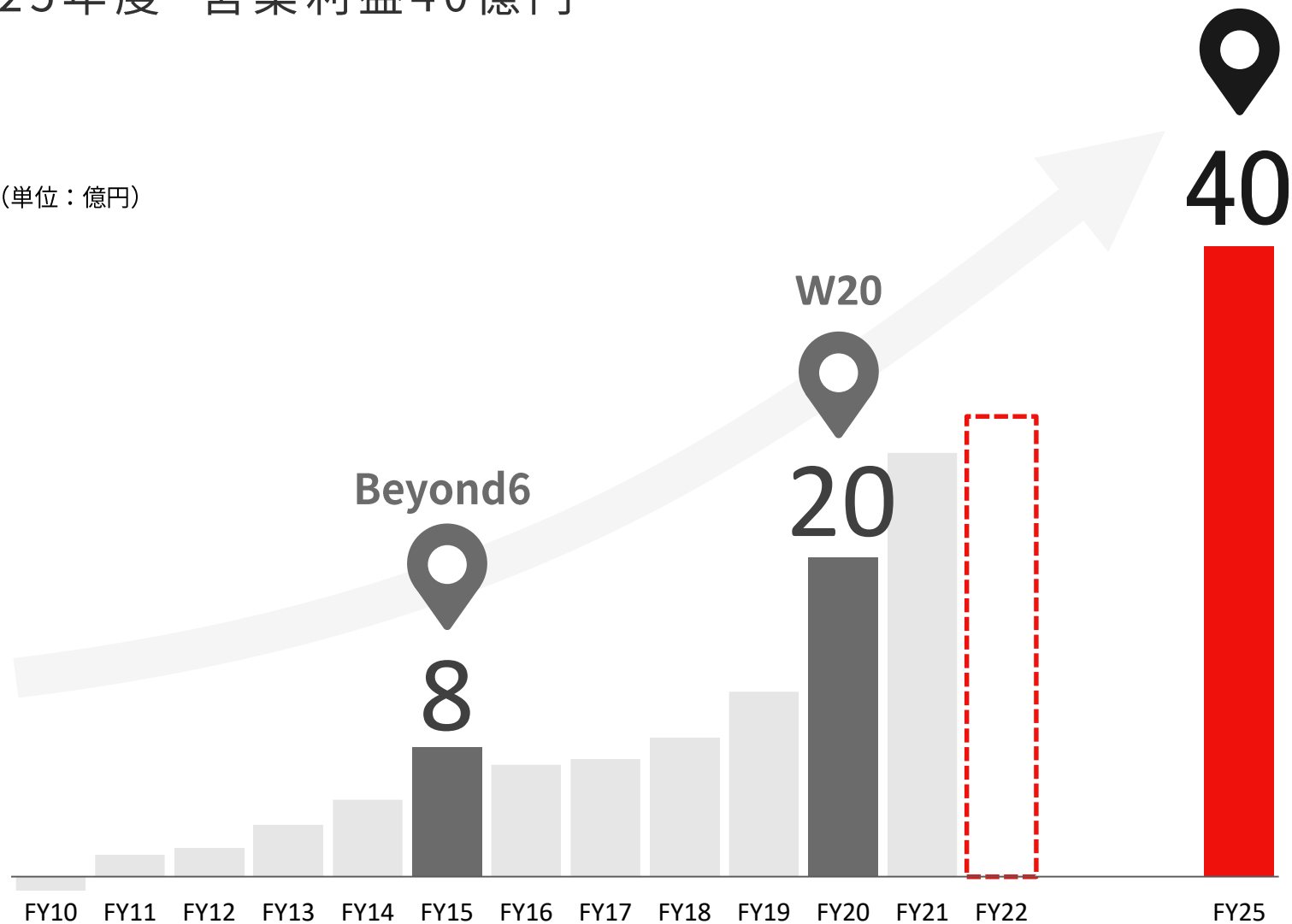


年間 28円

※配当性向 28.1%

2025年度 営業利益40億円

(単位：億円)



2025年度 営業利益

40 億円達成
||
X40
エックスフォーティ



ITmedia Inc.

Our Mission

メディアの革新を通じて
情報革命を実現し、社会に貢献する



ITmedia Inc.

お問い合わせ先

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル
アイティメディア株式会社

お問い合わせ : ir@sml.itmedia.co.jp